



保護者の皆様へ ～流行期における学校生活でのお願い～



新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以来、保護者の皆様には様々なご協力をいたしておりますが、現在の感染状況を踏まえ、改めて感染拡大防止にご協力いただきますようお願いいたします。

児童・生徒の陽性者が増加しています

変異株への置き換えが進むにつれて、子どもの陽性者が増加しています。

以前は家庭内感染があっても子どもは発症しないケースが多くありましたが、現在、子ども自ら発症し陽性となる事例や、濃厚接触者に特定されたと同時に発熱など発症する事例、中には家族全員が感染する事例も複数見られます。

学校の部活動や一緒に遊んでいた友人同士で感染してしまった事例もあります。

体調不良の時は、登校しない！

発熱やだるさ、のどの痛み、頭痛、鼻水など、少しでも体調がすぐれない場合は、登校せず医療機関を受診してください。

新型コロナウイルス感染症は、症状が出る1～2日前から感染力があります。少しでも体調がすぐれないと思った場合は、登校を控えてください。また、その他にも以下に該当する場合は登校を控えてください。

※感染症予防のために、登校を自粛される場合等は、「欠席」扱いとはなりません。各校に事前にご連絡ください。

- ① 同居家族に「熱」「咳」「強い倦怠感」など新型コロナウイルス感染症を疑う症状がある場合
- ② 児童・生徒自身や同居家族に風邪症状があり、PCR検査を受ける場合
(児童・生徒自身がPCR検査を受ける場合、各校にご連絡ください。)
- ③ 児童・生徒自身や同居家族が保健所から濃厚接触者として特定された場合
(児童・生徒本人でなく、同居家族が濃厚接触者に特定された場合は、その方のPCR検査の結果がわかるまで)

不織布マスクを着用しましょう！ 手洗い、換気など感染予防対策にご協力をお願いします。

引き続きマスクの着用や手洗いなど感染症対策にご協力をお願いします。

なお、マスクの素材について一般的なマスクでは、不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、その次にウレタンマスクの順に効果が認められています。そのため可能な限り、不織布マスクの着用をお願いします。ただし、人の顔の形は千差万別ですので、自分の顔にぴったりとフィットしているマスクを選ぶことや正しく着用することが重要です。

学校運営においては健康観察、換気、消毒や、密・接触を避けるための授業の工夫など、引き続き対策を徹底します。

家庭内感染を防ぐために

家庭内に感染が疑われる方がいない場合

- 1 こまめに手洗いをする
- 2 タオルや歯みがきのコップなどは共有しない
- 3 大皿料理は避け、1人分ずつ盛り付ける
- 4 ドアノブや電気のスイッチなどはこまめに消毒する
- 5 定期的に換気をする
- 6 目、口、鼻などウイルスが入る部分をできるだけ触れないようにする

＜東京動画（東京都作成）「福くん家庭内感染防止」編より＞

感染症拡大防止に
ご協力ください



家庭内に感染が疑われる方がいる場合

- 1 症状のある方と部屋を分ける
- 2 お世話はできるだけ限られた方で
- 3 マスクをつけましょう
- 4 こまめに手を洗いましょう
- 5 換気をしましょう
- 6 手で触れる共有部分を消毒しましょう
- 7 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう
- 8 ごみは密閉して捨てましょう



マスクをしよう



換気をしよう

＜厚生労働省「ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」より＞